中央会ふくい

No.188

Collaborate Fukui 2023.1

◉年頭所感

◉組合TOPICS

タケフナイフビレッジ協同組合
協同組合福井県ハイウェイサービスセンター
企業組合鯖の熟れ鮨し加工グループ

福井県中小企業団体中央会
https://www.chuokai-fukui.or.jp/

中小企業経営者のみなさまへ

国が準備したセーフティネット

安心の材料をご提供します。

小規模企業共済制度

●制度の特長

1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。

●**契約者貸付けの利用が可能**
契約者（一定の資格者）の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

●**共済金の受給権は差押禁止**
共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

経営セーフティ共済

●中小企業倒産防止共済制度の特長

1 掛金の10倍の範囲内で最高8,000万円まで貸付け

「回収困難となった売掛金債権等の額」と「掛金総額の10倍に相当する額（最高8,000万円）」のいずれか少ない額となります。償還期間は共済金の貸付金額に応じて5年～7年（据置期間6か月を含む）で毎月均等償還です。

2 貸付条件は無担保・無保証人

共済金の貸付けは、「無担保・無保証人」「無利子」です。ただし、共済金の貸付けを受けますと貸付額の10分の1に相当する額が積み立てた掛金総額から控除されます。

3 掛金は税法上損金（法人）または必要経費（個人事業）に

掛金月額は、5千円～20万円の範囲内（5千円単位）で自由に選べます。

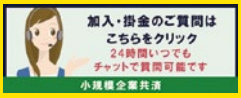
共済相談室　TEL. 050-5541-7171　【受付時間】平日 9:00～17:00

Be a Great Small.
中小機構

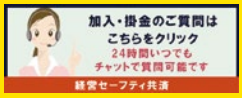
加入のお申し込み先
●商工会　●商工会議所
●中小企業団体中央会、中小企業の組合
●青色申告会　●金融機関の本支店

チャットボットなら24時間・365日お問い合わせにお答えします

加入資格・手続きについてのご質問をチャットでご回答いたします。
詳しくは下記のＱＲコード又はホームページからご確認ください。



小規模共済　検索



経営セーフティ共済　検索

2021.6

毎月勤労統計調査

まいつききんろうとうけいちょうさ

雇用　労働時間　賃金

福井県の物価を加味した賃金ってどんなふうに変動しているんだろう？

都道府県別の所定外労働時間ってどれくらい？

産業別の入職率や離職率はどんな傾向にあるんだろう？

答えはここから

福井県の調査結果
https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/toukei-jouhou/maikin/maikin.html

全国の調査結果
https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/30-1a.html

調査結果は e-Stat からもご覧いただけます

調査対象に選ばれた際にはご協力をお願いします

インターネットでも回答できます
ログインURL：https://www.e-survey.go.jp/

調査の概要
賃金や労働時間、労働者数の変動を明らかにすることを目的に、厚生労働省が都道府県をとおして実施しています。

調査対象
産業、事業所規模別に無作為抽出された事業所を対象に一定期間実施します。福井県では現在約 550 事業所が対象となっています。

結果の利用例
・経済指標の一つとして景気判断や都道府県の各種政策決定
・雇用保険や労災保険の給付額改訂 など

福井県地域戦略部統計調査課　☎ 0776-20-0272

調査対象事業所の皆さまへ
https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/toukei-jouhou/maikin/maikin-subject.html

新年のごあいさつ

福井県中小企業団体中央会
会長　稲　山　幹　夫

新年明けましておめでとうございます。本会の会員組合の皆様、関係団体の皆様におかれましては、健やかな新年を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。

旧年中は、本会の事業推進に格別のご支援とご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

昨年を顧みますと、新型コロナウイルス感染症の収束は困難な状況でしたが、ウィズコロナ下での経済活動再開が進み、明るい兆しも見えつつありました。しかし、ロシアのウクライナ侵攻などによる世界的な情勢変化の影響を受け、これまでに経験したことのない原材料価格やエネルギーコストの上昇が、企業収益を大きく圧迫し、先行き不透明感が増す1年となりました。

本県においても、コロナ下で影響を大きく受けた飲食業や観光関連産業で回復の兆しが見られたほか、本県の基幹産業である繊維やめがねなど幅広い業種で受注が増加するなど、経済の持ち直しの動きが見られました。しかし、急激なコスト上昇の影響を受ける一方で価格転嫁が進まず、中小企業・小規模事業者にとっては厳しい経営を迫られる年でもありました。

新しい年は、経済情勢の変化に対応しつつ、北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道の県内区間全線開通など本県経済にとってのビッグチャンスを的確に捉え、会員組合の皆様をはじめとする県内事業者の皆様の持続的な成長を後押ししてまいります。

具体的には、本会職員が自ら講師となり中小企業組合が抱える諸課題解決に向けた研修会等を企画実施するなど、会員組合の皆様のニーズ応じた支援をさらに強化してまいります。また、原材料価格やエネルギーコストの上昇など現下の経済情勢を踏まえ、カーボンニュートラルへの対応やデジタルツールの活用による生産性向上への支援を国、県等とも連携し進めてまいります。

さらに、県内事業者の受注機会を確保し新たなビジネスチャンスの創出を図る取引マッチングを強化するほか、人材確保対策や価格転嫁対策などへの支援についても引き続き尽力してまいりますので、なお一層のお力添えを賜りますよう心よりお願い申し上げます。

北陸新幹線福井・敦賀開業となる令和6年10月には、福井市において第76回中小企業団体全国大会福井大会を開催することが決定しました。

全国の中小企業組合関係者約2,000人が参加し、中小企業組合の活動や産地・特産品等を全国に発信する絶好の機会となりますので、本県全体をPRする大会となるよう準備を進めてまいります。

年頭に当たりまして、会員組合の皆様、関係の皆様が安心して事業活動を行い、成長に向けて前進する1年となりますことを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

福井県知事
杉　本　達　治

福井県中小企業団体中央会のみなさま、新年あけましておめでとうございます。お健やかに新春を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

昨年は、北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた駅舎の工事や、新九頭竜橋の開通、一乗谷朝倉氏遺跡博物館の開館など、百年に一度のチャンスを活かしたまちづくり・にぎわいづくりが着実に進展し、多くの方を迎えるための基盤が整いつつあります。

一方、長引く新型コロナウイルス感染症、厳しい物価高騰、8月の大雨災害など、さまざまな危機に直面した一年でした。県民のみなさまの日々の暮らしを守るため、引き続き、医療・介護・福祉の充実、経済対策、防災対策など、万全の対策を講じてまいります。

新しい年は、一年後に迫る新幹線開業に向けた総仕上げの年です。リニューアルオープンする恐竜博物館など観光地の磨き上げや日本一おいしい食のPR、ふくい桜マラソン等のイベントなど、交流人口の拡大に向けて、準備を加速します。また、過去最多の移住者のさらなる拡大や、高付加価値企業の誘致など、多くの人や企業を呼び込み、「チームふくい」の力で、「活力人口100万人」を目指します。

さらに、子育て応援日本一「ふく育県」の構築、子どもたちが安心して学べる教育環境の整備、女性や若者等の夢に向かったチャレンジの応援、障がい者の幸せ就労や多文化共生、農林水産業や地域産業の成長力の向上など、五回連続・幸福度日本一の基盤を活かして、一人ひとりが幸せを実感する社会の実現を目指します。

原子力・エネルギー政策は、国が確固たる道筋を示し、責任ある政策を実行するよう強く求めるとともに、県民の安全・安心を最優先に取り組んでまいります。また、ゼロカーボン社会を牽引し、自然と共生する先進地域を目指し、多様な取組みに挑戦し、将来にわたる地域の発展につなげていきます。

年頭に当たり、みなさまのますますのご多幸とご活躍をお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

年頭所感

近畿経済産業局長

伊　吹　英　明

令和5年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年の関西経済は、新型コロナウイルス感染症が落ち着き始め、回復の兆しが見えた1年となりました。国内の需要喚起策の実施や水際対策の緩和により人の流れが戻りつつあり、コロナ前の水準までとはいかないものの個人消費の回復が見られました。また、円安による輸出産業の収益改善などのプラスの動きも見られました。一方で、国際情勢の影響による原材料価格やエネルギー価格の高騰、急激な為替の変動により物価高騰に拍車がかかるなど不安定な状況が続きました。

先行きについて依然として不透明な要素はあるものの、GX・DX等の社会課題の解決による新たな需要の創出や、それに伴う国内設備投資の拡大など、前向きな動きや更なる賃上げも期待されます。また、2025年大阪・関西万博の開催に向けて、今年はパビリオン建設やチケット販売などが始まり、具体的な形が見えてくる一年になります。

これらの動向を踏まえ、近畿経済産業局では、以下の3つのキーワードのもと、様々な取組を行っていきます。

1つ目は「中堅・中小企業の支援」です。本年はコロナ禍から脱却し、企業が成長するための足固めとなる1年です。これまでにコロナ対策として融資を受けている多くの企業への資金繰り支援を引き続き実施するとともに、当局が昨年策定した経営分析ツール「ローカルベンチマークAct」の活用など、金融機関等と連携し、企業の財務体質や収益力強化に向けて支援していきます。

また、昨今の不安定な国際情勢に起因する電気やガス料金、原材料費等の価格高騰については、政府としてエネルギーの安定供給の確保や激変緩和対策に努めるとともに、価格転嫁を促進するなど取引適正化を後押しし、企業が収益を改善し賃上げしやすい環境をつくっていきます。

さらに、サプライチェーンの強靭化や、中堅・中小企業が取り組む事業再構築を進めるとともに、円安をチャンスと捉え、中小企業の輸出促進や海外展開を支援していきます。

2つ目が「中長期的な成長基盤の構築」です。中長期的な成長を図るべき分野の1つに環境・エネルギー分野があげられますが、2050年のカーボンニュートラル社会の実現に向けて、中小企業の多くはカーボンニュートラルが今後の自社の経営に影響を及ぼすと感じつつも具体的な方策まで至っていないのが現状です。そこで、当局では関係機関と連携し、普及啓発や、企業の省エネルギーの推進に向けて昨年10月に開設した省エネ相談窓口での相談など、企業の取組状況に応じたきめ細かな支援を行っていきます。また、カーボンニュートラルの実現に向けた革新的な技術の開発についても、企業の積極的な投資を後押ししていきます。

カーボンニュートラルの実現に向けて重要な蓄電池は、今後世界的に市場が拡大すると予測されており、国内外での製造基盤の強化が求められます。それに伴う研究開発や製造などを含めたサプライチェーン全体での人材不足に対応するため、蓄電池の製造品出荷額の全国シェアの三分の一を占める関西地域において、昨年、関西蓄電池人材育成等コンソーシアムを発足させました。本年も引き続き産学官の連携により、産業界のニーズに即した人材を育成・確保するための取組を進めてまいります。

また、関西に産業集積があり大規模プロジェクトが進められている水素についても、ビジネスマッチング等を通じた中小企業の新規参入促進を進めていきます。

さらに、ライフサイエンスやバイオものづくり、DXなど、今後の成長が期待される分野において、スタートアップによるイノベーション創出が期待されています。当局では、関西発のロールモデルとなる有望なスタートアップを「J-Startup KANSAI 企業」として選定し、公的機関と民間企業が連携して集中支援を行うなど、関西でスタートアップが成長できる環境整備に取り組んでいきます。

3つ目は「大阪・関西万博」です。大阪・関西万博については、すでにパビリオン展示のコンセプト等も発表され、催事や会場運営など様々なプログラムを活用した万博への具体的な参加に向けたフェーズに入ってきます。さらには、万博に向けてインバウンドの回復が見込まれる中、当局では、万博の来場者に、会場だけでなく周辺の特色ある地域もあわせて周遊してもらえるよう、地域の産業、歴史文化、食などの魅力を国内外に広く発信し、関西各地への誘客を促進する取組を地域とともに進めていきます。関西では、ものづくり中小企業が地域で一丸となって、来訪者に生産現場を見て体験してもらうオープンファクトリーの動きが盛んになっています。また、企業や産地組合、自治体が一体となって地域資源のブランド化を目指す取組も各地で次々に行われています。当局ではこうした各地の取組を繋ぎ、地域一体のプロジェクトとして支援することで相乗効果を図り、関西全体としての魅力を高めてまいります。

以上の3つのキーワードを柱に、関西経済の成長に向けて当局職員が一丸となって取り組んでまいります。

結びに、経済産業行政への御理解と御協力をお願いするとともに、皆様の御多幸と御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。

年頭に当たって

全国中小企業団体中央会
会長　森　　洋

明けましておめでとうございます。令和5年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、コロナの感染収束が見えない中、ロシアのウクライナ侵略等によるエネルギー価格や食料品等の高騰、急激な円安、豪雨・台風等の自然災害による断水・停電等の被害、デジタル分野をはじめ深刻化する人材不足、事業承継問題等により、中小・小規模事業者を取り巻く経営環境は、危機的な状況が続きました。特に、原材料価格の上昇を取引価格に十分に転嫁できないため、事業収益面で重大な悪影響を被っています。

一方、ウィズコロナに向けた社会経済活動の正常化が着実に進みつつありますが、今冬は新型コロナ感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されています。令和4年度補正予算で措置された「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」の早期かつ着実な実行に大きな期待を寄せているところであり、本会では施策の広報と迅速な執行に努めて参ります。

この難局を乗り越えるためには、個社ごとの対応はもちろん、中小・小規模事業者のインフラ、プラットフォームとしての役割を担っている中小企業組合や企業間の連携ネットワークを活かした戦略的な取組みが重要になります。

昨年11月10日に長崎県の出島メッセ長崎にて開催した第74回中小企業団体全国大会では、全国各地から中小企業団体の関係者約2，000名が参集し、関係省庁・関係機関をはじめ多数のご来賓をお迎えし、中小・小規模事業者等に対する、①経営強靱化・成長促進支援等の拡充、②実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進、③積極的な事業活動を支える環境整備の実現に向けて、組合関係者の皆様と共に取り組んでいくことを決議しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止と経済活動の両立、デジタル化の実装とグリーン化への積極的な取組み、ものづくり補助金を活用した生産性向上と事業再構築への対応、災害対策、事業承継、事業再生、スタートアップ、円安を活用した海外展開などの最重要課題については、会員の皆様との連携を一層強化し、取り組んでいきます。

経営者が本質的な経営課題に自ら気付き、自己変革力を促進していくため、経営力再構築のための伴走支援が行われています。48の中央会が一丸となってこの伴走型支援を展開し、組合の組織力の強化と組合員の経営改善に向けて尽力して参ります。

結びに、本年が中小企業組合と中小・小規模事業者の皆様にとりまして、安心して事業活動を行う環境が整い、卯の年らしく新たな時代に跳ね上がる1年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和5年元旦

新年のごあいさつ

株式会社　商工組合中央金庫
福井支店長　鈴　木　幸　次

新年明けましておめでとうございます。

謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、福井県中小企業団体中央会、並びに会員の皆さまから頂戴したご支援、ご愛顧に対しまして厚く御礼申し上げます。

昨年は日米金利差の拡大を背景とした急激な円安の進行、原材料価格・エネルギー価格の高騰など中小企業を取り巻く経営環境は大変厳しい1年になりました。ワクチン接種の広がりや水際対策の緩和、全国旅行支援による需要喚起等により国内消費の本格的な回復が期待される一方で、労働需給の逼迫による慢性的な人手不足も深刻化しており、業務効率化や生産性向上につながるデジタル化への対応も求められています。また大手企業においては中小企業を含むサプライチェーン全体に対して脱炭素や人権・労働関連のコンプライアンスを求める動きも加速しており、ESG全般に対する取組が求められるなど、中小企業を取り巻く経営環境はかつてないほど大きく変化しており、経営ニーズは一段と高度化、多様化することが考えられます。

このような中、商工中金は金融支援を通したセーフティネット機能の発揮に万全を尽くすとともに、パーパス（『企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする。』）の実現に向け、中小企業組合ならびに中小企業の皆さまとの深い対話を通して経営課題を把握し、解決に向けて取組んでまいります。

具体的には、中小企業の経営課題解決に向けて、「情報」「人財」「高度金融」といった3つのサービスへのシフトを進めるとともに、中小企業のライフステージに応じた、「スタートアップ支援」「サステナブル経営支援」「事業再生支援」といった3つの支援分野に重点的に取組んでまいります。そのためにも、日頃からリレーションを一層強化するとともに、中央会様をはじめ、地方公共団体、地域金融機関、外部専門機関等の各機関との連携・協業を密にし、当金庫の特性を活かしながら、社会経済の変化に対して中小企業の皆さまと共にチャレンジしてまいります。

「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶といたします。

杉本知事に中小企業対策に関する要望書を提出

12月12日(月)、本会　稲山幹夫会長、荒井由泰副会長、佐々木英二副会長、江端誠一郎専務理事より杉本達治福井県知事に対し、「中小企業対策に関する要望書」を提出しました。

収束がいまだ見えない新型コロナウイルス感染症については、感染は続いているものの、県内の中小企業組合、その構成企業の経済活動は回復傾向にあります。

しかし、原油高や原材料価格、労務費等の高騰に加え、電力料金をはじめとするエネルギーコストの上昇など、その影響は分野を問わず深刻化しています。

一方、2024年春の北陸新幹線福井・敦賀開業や2026年春の中部縦貫自動車道県内区間全線開通等は、本県経済にとってまたとない機会であり、交流人口の増大に向けたまちづくりや観光面での対応が喫緊の課題となっています。

こうした状況を踏まえ、県下中小企業組合及び組合を構成する中小企業・小規模事業者が事業継続と持続的な成長を果たせる環境を整備すべく、以下6項目の要望を行いました。

要望事項

1. 原材料やエネルギー価格、労務費等の高騰対策と事業者に対する影響緩和支援
2. 新たな設備投資助成制度の創設とものづくり補助金制度の継続、拡充等
3. 「カーボンニュートラル」、「DX」など社会環境の変化に対応する投資への支援強化
4. 新幹線県内開業に向けた商業・サービス業活性化のための支援強化
5. 事業者の人材確保等への更なる支援強化
6. 中小企業団体全国大会福井大会の開催への支援

▲左から江端専務理事、荒井副会長、杉本知事、稲山会長、佐々木副会長

インボイス制度セミナーを開催

インボイス制度セミナーを11月25日、28日、福井県中小企業産業大学校にて本会および福井県商店街振興組合連合会が開催しました。本会では、これまでインボイス制度の概要についてセミナーを実施してきましたが、今回は「小売・サービス業」「建設業・工業」と業種別に開催。それぞれの業種によってインボイス制度にどのような対応が必要になるのか具体的に説明をしました。

建設業・工業を対象としたセミナーの後には、公正取引委員会より「組合共同事業に関する組合と組合員間の取引における独占禁止法上の留意点」についての説明を頂きました。インボイス制度が始まるにあたり、免税事業者である組合員への対応について検討している組合もいる中、事例を交えながら優越的地位の濫用など独占禁止法上問題とならないよう注意喚起がなされました。参加者の中には組合員（取引先）との取引間で問題となる行為について初めて知る方も多く、今後留意して対応を考えていただく機会となりました。また、セミナー後は会場に来られなかった方のために動画配信も実施し、多くの組合役職員、組合員にご視聴いただきました。

インボイス制度個別相談会を開催

上記インボイス制度セミナーに続き12月19日、個別相談会を開催しました。嶺北・嶺南会場合わせて6組合が参加し、組合役職員や組合員が税理士・公正取引委員会にそれぞれ相談をしました。

課税事業者になるか選択を迷われている組合には、現在の状況をヒアリングし、課税事業者になった際のメリット・デメリットを説明。相談者は今回の相談会の内容を踏まえ、今後どうするか検討するとのことでした。また、免税事業者の組合員への対応について悩んでいる組合には、今回オンラインで対応いただいた公正取引委員会より独占禁止法上問題とならないよう説明がなされました。

第2回外国人技能実習制度適正化講習会を開催

11月29日、福井県国際交流会館にて第2回外国人技能実習制度適正化講習会を開催しました。講師に公益財団法人国際労務管理財団　大阪事務所　所長　橋本裕介様をお招きし、「技能実習生が職場定着するための労務管理のポイント～技能実習生のキャリア・デザインを考える～」をテーマに講話が行われました。

労働人口の急速な減少、長引くコロナ禍に加え、円安、インフレなどにより、技能実習生を取り巻く環境は大きく変化しています。さらに、国では制度の目的と実態の乖離が問題となっている技能実習制度の見直しや、外国人が中長期的に活躍できる制度の構築などの検討が始まっています。今後、外国人労働力の入替え・流動が激しくなり、長期雇用が前提となれば、企業はそれに応じた労務管理も求められると説明されました。参加者は制度の見直しを注視するとともに、労務管理の重要性について再認識する良い機会となった様子でした。

国税庁

令和５年10月から
消費税インボイス制度が始まります。

消費税インボイス制度

登録を予定されている事業者の方へ
登録申請はお早めに!

※制度開始時にインボイス発行事業者となるためには、原則として、令和５年３月31日までに登録申請を行う必要があります。

登録申請手続は、
かんたん・便利♪
e-Tax
をご利用ください!!

- ☑「e-Taxソフト（WEB版）」、をご利用いただくと、質問に回答していくことで申請が可能です。
- ☑ e-Taxで申請した場合、電子データで登録通知の受領が可能です。
- ☑ 個人事業者の方はスマートフォンからでもe-Taxで申請できます。

※e-Taxのご利用には事前にマイナンバーカードの取得が必要です。

説明会を開催中

税務署での説明会やオンラインでの説明会をご案内しております。

説明会ページへ

制度について詳しくお知りになりたい方は、国税庁ホームページ（https://www.nta.go.jp）の「インボイス制度特設サイト」をご覧ください。

特設サイトへ

特設サイトでは
❶ 制度の解説動画
❷ AIを活用したチャットボット
❸ 軽減・インボイスコールセンター
などをご案内しております

令和4年度近畿経済産業局における
地域中小企業･小規模事業者の人材確保支援等事業

～ミドル世代のための合同企業説明会を開催～

本会では中小企業の人材確保支援の一環として、概ね30代～50代のミドル世代を対象とした合同企業説明会を11月27日、県繊協ビルにて開催しました。県内企業16社（うち、本会会員組合 組合員企業10社）が出展し、約60名の参加者が来場しました。

福井県内の有効求人倍率が54カ月連続全国トップとなり、企業の慢性的な人手不足の状況が続いています。一方で30代～50代は転職意欲が高く、自分の力を活かしたいと思われる方が多いことから、本会が企業とミドル世代の求職者とのマッチングを支援することにより県内の中小企業を活性化させたいと考え、本合同企業説明会を企画しました。

各企業のブースでは、参加者が人事担当者から業務内容や社風、働き方などの説明を受け、熱心に耳を傾けメモを取っていました。また、企業ブースの他、再就職・転職活動のポイントセミナーの開催やキャリアコンサルタントによる就職相談コーナーを設け、参加者の就職活動を後押ししました。

出展企業からは、「自社の情報発信がなかなか行えない中、求職者と接点を持てる機会はありがたい。この機会を自社の人手不足解消に役立てたい」という声が聞かれました。参加者からは「ホームページや求人情報だけでは分からない事が多く、生の情報を知りたいと思い参加しました。様々な情報を聞くことができ、とても有意義でした。年末までに転職活動を成功させたい。」と意気込みを語られました。

▲企業ブースで会社の説明を受ける参加者

▲再就職・転職活動のポイントセミナー

中央会では、会員組合・組合員企業を中心とした中小企業向けの
人材確保支援（合同企業説明会の開催等）を行っております。
人手不足に悩んでいる、就活イベントに出展したいなどございましたら、
お気軽に本会　連携支援課（0776-23-3042）までご相談ください！

中小企業組合制度活用講座を開催

中小企業組合制度は本会会員の皆様ならご存じの通り、会社や個人が連携することで1社・1人ではなかなか解決できない課題にも取り組むことができ、フラットな法人形態が実現できる制度です。本制度をより多くの方に知って頂き、有効に活用して頂きたいという思いから、連携支援課では12月5日、6日に「中小企業組合制度活用講座」を開催しました。制度の説明は連携支援課職員が、事例紹介では新潟まんが事業協同組合　事務局長　田中えいじ様、敦賀市管工事協同組合　理事　中村武史様、福井県スケルトン事業協同組合　理事長　田畑賢一様をお招きし、組合の取り組みや協同組合のメリットなどをお話しいただきました。

本会職員からは、中小企業組合は実施事業に制限が無いこと、また、出資者、参画者、利用者が同一であるためステークホルダー間の上下関係が存在しない、この上なくフラットな事業体であるという特徴を持っていると説明し、中小企業の課題解決はもとより、地域社会の活性化などに活用できるのではないかと提案しました。

新潟まんが事業協同組合
田中様

新潟まんが事業協同組合　田中様からは「組合という手段は『個』の力を合わせるということ、足し算ではなく掛け算の考え方で想像以上のパワーが生まれる」。

敦賀市管工事協同組合　中村様からは「共同購買事業により個人で購入するよりも安価で物品を供給することができている。また、市だけでなく国や県に対しても大きな信頼と安心を与えることができている」。

敦賀市管工事協同組合
中村様

福井県スケルトン事業協同組合
田畑様

福井県スケルトン事業協同組合　田畑様からは、「1社では意見、要望を聞いてもらえないが、組織なら可能になる。協同組合を活用して、福井の塗装業界を盛り上げていきたい。」と事例を交えて協同組合の良さをお話しされました。

参加者からは、「組合として切り口を変える事で様々な事業ができることが参考になりました」「実際に運営をされている代表の方の話が聞けて勉強になりました」との声を頂きました。

ふくい青年中央会　活動紹介

～キャンプ&BBQを実施～

11月5日（土）から6日（日）にかけて、ふくいUBAの同志で福井市のSSTらんどにてキャンプ＆BBQ交流会を開催しました。キャンプを趣味としているメンバーが多数いることやアウトドアへの関心の高まりから、UBAキャンプ部を結成し記念すべき第1回目のキャンプをBBQ前日に実施しました。UBAコミュニケーション担当の県機械工業青年会の増田副会長、越前和紙青年部会の清水副会長が実施責任者となり、キャンプ熟練者の県建設鉄工（協）青年部会の田崎副会長、県造園業（協）青年部会の早見理事の手厚い助力を得て20名程が参加し、晩秋の肌寒い空気を感じながら食べる手作りカレーや豚汁は“最高”の一言に尽きました。

迎えた翌日のBBQでは、メンバーのご家族など総勢60名程が集まり、いつも顔を合わせるメンバー同士の交流はもちろん、メンバーのご家族とも親睦を深める貴重な機会となりました。お肉と焼きそばで空腹を満たしながら、缶ビールやチューハイ、ノンアルコールドリンクで喉を潤しました。途中に火起こし競争などのミニゲームを挟み、順位と景品を競い合い盛り上がる場面もありました。

今回のキャンプ・BBQを通して、このイベントのおかげで生まれた絆があると思っています。異業種の方々が出会い交流する様は、今年度のふくいUBAの目標である「Matching」に相応しいです。

キャンプなどアウトドアに興味のある方、是非ふくいUBAの門を叩いてみてください。

～ Go To UBA（メンバー企業視察研修）を実施～

12月17日（土）に㈱ホクシス様、KOKUYOライブオフィス様にて視察研修を行いました。

㈱ホクシス様では、デジタルホワイトボードELMO Boardについて説明を受けました。書く、映す、共有するすべての行為を電子化し、タブレットのように自在に操作できます。実際に企業に導入した例はまだ数が少なく、これから増加する見込みだそうです。

KOKUYOライブオフィス様では、オフィス用品の紹介をしていただきました。椅子の腰当てと肘置きの高さによって楽な姿勢を維持することができ、事務の方々の疲労軽減効果が期待できることや、空間の仕切りを作って視覚的には完全に仕切られていなくとも感覚的に仕切る方法、外の音はある程度聞こえるが中の音はもれない遮音技術、音を流すことで会議室外への情報漏洩を抑制する効果が期待できる技術、書類を溜めないよう持てる書類を制限するという工夫などを目の前で見せていただきました。見学したみなさんとてもご満足いただいて、中には感動して新しい椅子を購入した方もいました。

その後はメンバーであるあわら温泉の美松さんへ足を運び、ランチと入浴を楽しんでいただきました。今回の視察研修を通して、また一層青年部の団結力が高まったのではないでしょうか。

本会の取引力強化推進事業により
リーフレットの制作を行った組合をご紹介します！

協同組合福井県ハイウェイサービスセンター

協同組合福井県ハイウェイサービスセンターは昭和63年に設立され、高速道路通行料金共同精算事業を主な事業とした異業種組合です。

当組合では、新型コロナや原油高、物価高騰等の影響により組合員数が減少するなど、新規組合員の加入を促進し、共同事業の安定化を図ることが課題となっていました。

そこで、組合をPRする新たなパンフレットの制作に取組み、企業のニーズをつかみ組合加入に繋がるよう更なる情報発信の強化を図りました。

組合事業のPRや加入メリット、問い合わせが多い事項などを掲載したパンフレットは、組合ホームページやFaceBook等のWeb媒体と連携することによって組合の認知度向上や活性化につながっているほか、企業へのファーストコンタクトとして有効活用されています。

企業組合鯖の熟れ鮨し加工グループ

高齢化で途絶える可能性がある地域の伝承料理「鯖の熟れ鮨し」を残していこうと平成17年に設立された当組合は、熟れ鮨しの漬け込み技術をもつ組合員からその味を受け継いできました。熟れ鮨しは年末の贈答品や地元の行事を中心に販売してきましたが、コロナ禍により販売機会が失われていました。このような中、当組合は勝山市内に道の駅ができたことや来年の第2恐竜博物館開館などを販路拡大のチャンスと捉え、観光客が買い求めやすい商品・販売方法を考えました。また、同商品展開に合わせたパッケージデザインの作成と訴求方法を改めたリーフレットデザインの制作に取組みました。

そして、昨今の発酵食品ブームにより特に女性からの関心が高いことから、伝承料理を強く訴求した従来のリーフレットから発酵食品としての付加価値を前面に訴求するリーフレットが完成。これまでと異なるターゲット層や観光客への販路拡大を進めました。

タケフナイフビレッジ協同組合

新年恒例「初打」

当組合では設立当初から毎年、元日0時に「初打」という神事を行っており、29回目の行事となります。この初打では、“白装束に烏帽子”という厳かな姿に身を包んだ3人の職人が、昔ながらの鍛錬法「古式鍛錬」で1つの刃物を鍛え上げます。「古式鍛錬」は、親方と子方が、ふいごで風を起こし、材料の鉄を炉で赤めて、三位一体で刃物を鍛える伝統的な技法で、今回は伝統工芸士の弥氏　良寛氏が親方、野村　諒氏、西野　音弥氏が子方を務められました。『今年が良き一年になりますように』と願いが込められている初打には、一般の方も観覧することができるため、今回も会場・タケフナイフビレッジ新館前に多くの人が集まり、職人が熱した鉄を打つ様子を観覧していました。

また、組合では「初打フォトコンテスト」を同時開催。本誌表紙は、昨年のコンテストで最優秀賞を受賞した作品です。毎年当コンテストには多くの応募があり、今年も2月頃に最優秀賞などの結果が発表されるとのことです。インスタグラムでは、ハッシュタグ「#hatsuuchi2023」で初打の様子やタケフナイフビレッジに関する写真を見ることができますので、ぜひチェックしてみてください。

中央会情報誌に組合のイベント情報や実施したイベントを掲載しませんか？

中央会情報誌「Collaborate Fukui」は
会員組合や関係機関に年4回発刊しています。

これから実施する予定のイベントや
実施したイベントの情報を募集しています。
イベントの告知や組合事業のPR等にも
ぜひご活用ください！

お問合せは福井県中央会まで▶TEL：0776-23-3042

第７回 職員コラム

「私のストレス解消法」

連携支援課　堀井　真理生

連携支援課の堀井です。皆さんは年の初めをどのような気分でお過ごしですか。長い休みの後は意外と仕事に日常にとストレスを感じやすくなるものです。そこで今回は、私がここ数年で編み出した週末ストレス解消法をご紹介しようと思います。

まずはラーメンを食します。流行りの上品なものも好きですが、ここはひとつ、豚骨臭が漂うガツンとしたラーメンを食べましょう。仕事は休みですから臆することなくニンニクをどっさり入れて、一心不乱にズズズズーーと勢いよくすすります。一緒に頼む半ライスをニンニクたっぷりのスープに浸した海苔で巻いて噛めばそこはもう天国。食後はニンニクのかほりとともに爽快感で満ち溢れることでしょう。

次にお風呂屋さんに向かいます。その際20km～30km程度離れたところを選ぶとよいでしょう。適度な距離のドライブはラーメン後の高揚を落ち着かせ、入浴への気持ちを整えてくれます。着きましたら、ぶわーーっと一心不乱に体を洗い、最初に熱いお湯につかります。この時、気持ちに抗わず、ふぃーーーなどと声を発すると効果てきめんです。あとは、ぬるめのお湯に移動し、のぼせる一歩手前までゆっくり堪能します。常連さん、ご近所さんの会話にそっと耳を傾けるのもまた一興です。湯上り後に冷たい飲み物でのどを潤せば、嫌なことなんて全部吹っ飛んでいることに気付くでしょう。

ストレス解消に理想的なラーメンの一例

攻めのラーメンと癒しのお風呂の相乗効果を求める私の週末ルーティン、いかがでしょうか。どちらも肩肘張らず無心になれることがストレス解消に効果的なのだと考えています。効果を最大に引き出すため両方を分けず、一日で楽しむことをお勧めします。是非お試しあれ。

中央会 行事予定

◆1/24(火)　15：00～
中央会役員組合事務局責任者会議
会場：福井パレスホテル

◆1/27(金)　17：00～
中央会役員新春懇談会
会場：開花亭

◆1/31(火)　14：00～
デジタル化推進セミナー
会場：福井県生活学習館(ユーアイ・ふくい)

◆2/4(土)　16：00～
ふくい青年中央会　新春交流懇親会
会場：あわら温泉グランドホテル

◆2/27(月)　10：00～
ZOOM体験会
会場：ふくい産業支援センター

令和4年度
ふくい業務改善・賃上げ応援事業補助金

※本掲載は令和4年12月26日時点の内容です。

福井県では、国の「業務改善助成金」の対象となる事業者に県独自の上乗せ支援を行い、県内中小企業の経営改善と労働者の所得向上を図るため下記申請受付を行っていますのでお知らせします。

○対象者事業者

国の業務改善助成金の支給決定を受けた中小企業

○業務改善助成金（厚生労働省）の概要

事業場内最低賃金を一定額以上引き上げ、設備投資（機械設備やコンサルティング導入、教育訓練）などを行った場合に、その費用の一部を助成します。

なお、**令和4年12月から制度が改定され、事業場規模30人未満の事業者に対する助成上限額の引き上げや、助成対象経費の拡充など、より活用の幅が広がりました。**

コース区分（引上げ額）	引き上げる労働者数・上限額 ※（　）は、従業員規模30人未満の事業者の場合（R4.12.12より制度拡充）					助　成　率
	1人	2～3人	4～6人	7人以上	10人以上	
30円コース	30万円	50万円	70万円	100万円	120万円	【事業場内最低賃金870円未満】 9/10（一律） 【事業場内最低賃金870円以上920円未満】 4/5（生産性要件を満たした場合9/10）
	（60万円）	（90万円）	（100万円）	（120万円）	（130万円）	
45円コース	45万円	70万円	100万円	150万円	180万円	
	（80万円）	（110万円）	（140万円）	（160万円）	（180万円）	
60円コース	60万円	90万円	150万円	230万円	300万円	
	（110万円）	（160万円）	（190万円）	（230万円）	（300万円）	
90円コース	90万円	150万円	270万円	450万円	600万円	
	（170万円）	（240万円）	（290万円）	（450万円）	（600万円）	

○助成率

国の業務改善助成金の支給決定額の1/10

○申請手続きについて

- **申請期限**　令和5年3月20日（月）
- **提出方法**　申請様式等を福井県ホームページよりダウンロードし、国の業務改善助成金の交付額確定通知書の日付から1か月以内を目安に郵送またはメールで提出
- **提 出 先**　〒910-8580（住所の記載は不要です）
  福井県産業労働部労働政策課　労働環境グループ　あて

詳細は福井県ホームページをご覧ください。

https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/rousei/kigyoushien/04chinginouen.html

令和4年度ふくい業務改善・賃上げ応援事業補助金　検索

『災害』への備えは
十分ですか？

地震危険補償特約で
万が一に備えましょう！

福井県火災共済協同組合
理事長　白﨑　誠一
〒910-0854
福井市御幸1丁目1-1（FM会館2階）
TEL 0776-22-6000　FAX 0776-22-7471
URL：https://ken-kyosai.jp

人材の確保と企業の保全のために

中央会の
特定退職金
共済制度

●特　色
1 事業主が負担する掛金は加入従業員１人あたり月額30,000円まで損金計上可能（所得税法施行令第64条・法人税法施行令第135条）
2022年2月現在の税制に基づいた記載です。今後税制改正が行われた場合には記載の内容と相違する場合があります。

2 掛金納入月数60月以上の従業員が死亡以外の事由により退職した場合、年金による受取が可能

※詳しくは、福井県中小企業団体中央会の退職金共済規程および特定退職金共済制度パンフレットを必ずご覧ください。

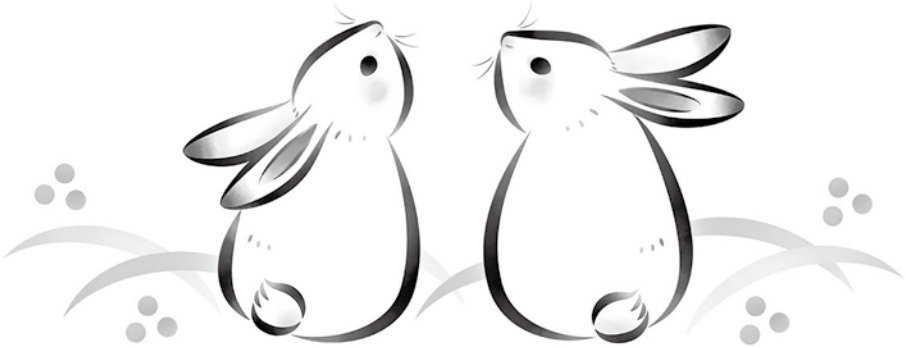
資料の請求とお問い合わせ
福井県中小企業団体中央会 ☎(0776)23-3042
福井市大手3丁目12-20 冨田第一生命ビル3階

引受保険会社　大樹生命保険株式会社

大樹－KB－2022－28

印　章・ゴム印・名　刺・ハガキ
江川堂印房(株)
福井市NHK前　TEL(0776)22-4279・27-3656・FAX26-1150

令和5年 誌上組合年賀交換



越前おおの織物工業協同組合

理事長　稲　山　幹　夫

大野市春日64－50（稲山織物株式会社内）
TEL 0779－66－3360　　FAX 0779－66－1780

福 井 県 織 物 工 業 組 合

理事長　荒　井　由　泰

福井市大手３－７－１（繊協ビル内）
TEL 0776－21－2750　　FAX 0776－21－9060
URL : http : //www.fit.or.jp/　　E-mail : info@fit.or.jp

福井県石油業協同組合

理事長　井　田　浩　志

福井市花堂中１丁目３番40号
TEL 0776－34－3151　　FAX 0776－34－0132

あけましておめでとうございます

福井県共同店舗協同組合連合会

会　長　竹　内　邦　夫

福井市大和田２丁目1212番地
協同組合福井ショッピングモール（エルパ内）
TEL 0776－57－2525　FAX 0776－57－2520

走る。はこぶ。はばたく。
FTK

福井県トラック事業協同組合

理事長　後　藤　隆　一

福井市大土呂町第１号20番地の１
TEL 0776－38－6510　FAX 0776－38－0730

「市民の為に信頼される組合」
～技術力を結集し　安全・安心・迅速なライフラインの確立～

TSURUGASHI
KANKOJI
KYODO KUMIAI

敦賀市管工事協同組合

理事長　中　村　紀　明

〒914-0073　福井県敦賀市天筒町８番８号
TEL 0770－25－5843　FAX 0770－25－5863
E-mail info@tsuruga-kankoji.or.jp
HP http://tsuruga-kankoji.or.jp/

一家の健康は体にやさしい塗壁から

福井県左官工業組合

理事長　土　田　英　樹

福井市城東４丁目22－21
TEL 0776－24－3320　FAX 0776－22－8281

あけましておめでとうございます

信頼は安全・安心輸送から

福井県中央トラック事業協同組合

代表理事　笹　原　健　哉

越前市岩内町30号２の３
TEL 0778－27－2761　FAX 0778－27－2762
E-mail : ctra@lilac.ocn.ne.jp

繊維製品製造業組合　技能実習生受入事業推進組合

遼日産業協同組合

理事長　酒　井　雅　憲

大野市東中野 1-501 TEL **0779-65-5669** · FAX **65-7946**
HP　http://www.ryo-nichi.com

令和5年スローガン「さらに前へ」

協同組合 福井ショッピングモール

代表理事理事長　竹　内　邦　夫

福井市大和田２丁目1212番地
TEL 0776－57－2525　FAX 0776－57－2520

嶺南管工事防災対策協同組合

理事長　金　吾　康　史

〒914-0073 福井県敦賀市天筒町８番８
TEL 0770－25－5843　　FAX 0770－25－5863

あけましておめでとうございます

福井県商店街振興組合連合会

理事長　野　尻　章　博

〒910-0005 福井市大手3丁目12番20号
冨田第一生命ビル３階
（福井県中小企業団体中央会内）
電話（0776）23－3042　FAX（0776）27－3058
E-mail：syoren@chuokai-fukui.or.jp

福井県眼鏡工業組合

理事長　佐々木　英　二

鯖江市新横江２丁目３－４
めがね会館４F
TEL 0778－51－1724　FAX 0778－52－9110
URL : http : //www.megane.gr.jp/museum
http : //japanglasses.jp

丸岡ファインテックス協同組合

理事長　西　田　紀　春

坂井市丸岡町一本田福所23－12－6
TEL 0776－66－3700　FAX 0776－66－3703
E-mail：info@echizenori.jp
http://orimark.echizenori.jp/　http://www.echizenori.jp

工事と設備診断のご用命は組合加盟店へ。

福井県電気工事工業組合

理事長　前 田 豊 次

福井電気安全サービス

「配線点検」にお伺いしております。
福井市西方１丁目14番８号
TEL（0776）22-2903㈹　FAX（0776）23-1250
http ://www.fkidenko.or.jp/　E-mail : info@fkidenko.or.jp

心地よさを人に、自然に。
（砂利・砂・砕石）

福井県骨材工業組合

理事長　堀　居　龍　夫

〒910-0853 福井市城東4丁目12番21号
電話（0776）89－1517　FAX（0776）89－1528
E-mail : kotuzai@bz04.plala.or.jp

ー越前漂器で豊かなくらしー

越前漂器協同組合

理事長　土　田　　直

鯖江市西袋町37－６－１
TEL 0778－65－0030　FAX 0778－65－0550
E-mail : info1@echizen.or.jp

福井県火災共済協同組合

理事長　白　﨑　誠　一

福井市御幸１丁目１番１号（FM会館２階）
TEL 0776－22－6000　FAX 0776－22－7471
URL:https://ken-kyosai.jp
E-mail:info@ken-kyosai.jp

福井県農業機械商業協同組合

代表理事　中　嶋　雄　三

坂井市丸岡町熊堂第３号７番地１－16
福井県産業情報センター６階
TEL 0776－50－2154　FAX 0776－50－2654

あけましておめでとうございます

福井県電器商業組合

理事長　齊　藤　清　員

福井市和田東１丁目715番地
TEL 0776－23－3053　FAX 0776－21－2992

福井県造園業協同組合

理事長　向　　富美吉

坂井市丸岡町楽間15－27－１
TEL 0776－67－0600　FAX 0776－67－0668
URL:http://www.niwapro.com/　E-mail:fu-zouen@niwapro.com

福井県保険代理業協同組合

理事長　佐　竹　武　夫

福井市大東２丁目１－20（レコルタフォー 202）
TEL 0776－57－0135　FAX 0776－57－0185
URL:http://www.fiac.jp/　E-mail : info@fiac.jp

福井県遊技業協同組合

理事長　村　田　展　隆

福井市月見４丁目１－37
TEL 0776－35－8121　FAX 0776－35－4544

福井県板金工業組合

理事長　中　島　福　則

福井市花堂東２丁目1305番
TEL 0776－34－1616　FAX 0776－34－1617

福井県自動車車体整備業協同組合

理事長　濱　埜　治　夫

福井市西谷１丁目1401
TEL 0776－34－1755　FAX 0776－36－1375

嶺南舗装合材協同組合
嶺南アスコン

小浜市太良庄93－３－５
TEL 0770－56－0008　FAX 0770－56－2008
E-mail : r-asukon@angel.ocn.ne.jp

福井県自動車整備商工組合

理事長　田　中　　森

福井市西谷１丁目1401
TEL 0776－34－3434　FAX 0776－34－3431
http : //www.kurumanopro.or.jp/

あけましておめでとうございます

福井県蔦土工業協同組合

理事長　広　川　幸　則
役員一同

福井市城東４丁目22番20号
TEL 0776－26－1125　FAX 0776－26－1144
E-mail : kkf-tobi@kind.ocn.ne.jp

福井市古紙等リサイクル協同組合

代表理事　増　田　喜一郎

福井市乾徳３丁目５－14
TEL 0776－27－0619
FAX 0776－27－0629

お陰様で組合創立50周年

協同組合 武生問屋センター

理事長　山　内　和　則

組合会館のご利用を。

展示会、会議や研修、パーティなど、どなたでも多目的にご利用いただけますので、お気軽にお問い合せください。

●お申込み・問い合わせ先は、㈳**武生問屋センター事務局**まで

TEL 0778－24－4222
URL：https://www.taketon.jp/

『食の國ふくい』福井県版カタログギフト好評発売中！

福井県贈答品業協同組合

理事長　坪　田　浩　一

福井市乾徳２丁目202－１
TEL 0776－23－3225　FAX 0776－25－3326
URL:http//fukui-gift-co.jp/　E-mail:info@fukui-gift-co.jp

福井市学校給食食肉納入協同組合

理事長　今　村　豊　次

福井市春日２丁目８番４号
TEL 0776－33－6565　FAX 0776－33－6566

協同組合ハニー

理事長　湧　口　満　弘

福井市高柳１丁目609番地
TEL 0776－53－0820　FAX 0776－53－0829
URL : http : //www.honey.or.jp

福井県プラスチック工業会

会　長　海　道　直　人

福井市串野町９－35　日本真空化学㈱内
TEL 0776－43－0126　FAX 0776－43－0165

福井県インテリア事業協同組合

理事長　浜　本　良　一
役職員一同

〒910-0837 福井市高柳１丁目1903番地
フェイスビル２階204
TEL 0776－97－6364　FAX 0776－97－6128
E-mail : fukui-interia@wine.plala.or.jp
https : //fukui-interia.net/

BESTパートナー
大樹生命
日本生命グループ
つなぐ～信頼を拡げ、未来を拓く～

よりそう保険。
大樹セレクト Taiju Select
無配当保障セレクト保険
あなたにぴったりな保障を自由にセレクト!

大樹生命保険株式会社　福井支社
〒910-0005 福井県福井市大手3-14-9 商工中金E･S福井ビル　TEL:0776-24-1124
https://www.taiju-life.co.jp/

関西電力
power with heart

原子力発電で生み出される電気はゼロカーボン電気です。
半世紀に亘って原子力を支え続けて頂き、この電気をお使い頂いている若狭地域はゼロカーボン電気のふるさとです。
これからも地域の皆さまと社会のゼロカーボン化を目指してまいります。

みんなでアクション すすめ、ゼロカーボン!

ゼロカーボンに向けた取り組みなどについて、当社ホームページでご紹介しております　https://www.kepco.co.jp　二次元コードからアクセス⇒

関西電力　ゼロカーボンロードマップ　検索

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

01.
全国ネットワーク支援

全国ネットワークで、
企業間の連携をサポート。

47都道府県に広がる店舗網や、7万社以上のお客さまとのリレーションを活かし、商工中金はビジネスマッチングや事業承継・M&Aなど、企業の縁結びをサポートします。

02.
組合支援

中小企業組合の活動を、
情報と金融でサポート。

個々の企業では解決しきれないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、組合運営のフォローや情報提供、ご融資まで、組合活動を継続的にサポートします。

03.
海外展開支援

海外進出を、情報と金融で
継続的にサポート。

海外拠点や現地の政府機関、提携金融機関とのネットワークを活かし、商工中金はお客さまの海外進出検討段階から現地での事業拡大ニーズまで、幅広くサポートします。

人を思う。未来を思う。

商工中金

福井支店 0776(23)2090
〒910-0005 福井市大手3-14-9
https://www.shokochukin.co.jp/

新型コロナウイルス感染症に関する
商工中金の対応について

商工中金は、「新型コロナウイルス感染症に関する特別相談窓口」を開設し、影響を受けた中小企業の皆さまの資金繰り相談等に対応しております。
詳細はホームページをご確認下さい。